

【DANCHI】なんでもありえる昭和の集合住宅。
ウワサが転がる小宇宙。



脚本・監督 阪本順治
藤山直美 岸部一徳 大橋道代 石橋蓮司
斎藤工 富浦智嗣
竹内都子 濱田マリ 原田麻由 滝裕可里
宅間孝行 小笠原弘晃
三浦誠己 磨赤兒

団地

【主演】**藤山直美**

【監督】**阪本順治**



ダンナが床下に
隠れてしもた!



(C) 東海テレビ放送

上映時間 ①10:30~12:13 ②13:30~15:13

8月19日(日) 東かがわ市交流プラザ多目的ホール

主催：東かがわ市交流プラザ 問合せ先：0879-26-1224 後援：東かがわ市教育委員会

前売料金

一般 1,000 円 (当日 1,200 円) (中学生以下無料)

「団地でオモロイなあ…
噂のコインロッカーや」

誰にも予測できないしゃべくりコメディが誕生!

実在の逃亡犯をモデルに“人間の業”を余すところなく表現し、多くの映画賞に輝いた傑作『顔』から16年。日本を代表する舞台女優・藤山直美と阪本順治監督が、再びタッグを組んだ! 待望の新作『団地』は、完全オリジナルの会話劇。さまざまな人生が交差する団地という“小宇宙”を舞台に、ごく平凡な夫婦の普通じゃない日常を、独特のユーモアで描きだす。稀代のコメディエンヌ・藤山直美の未知なる魅力を引き出した、まさに新境地の“人間関係コ

メディ」だ。絶妙な間合いで藤山の夫役を演じるのは、岸部一徳。二人と絡む自治会長夫婦は、石橋蓮司と大楠道代の名コンビ。阪本組の常連にして最強の“しゃべくりカルテット”がここに実現した。脳を固めるのは今ももっとも旬な若手男優・斎藤工をはじめ、摩赤兒、宅間孝行、竹内都子、濱田マリなど芸達者たち——。飛び交うブラックな噂と妄想、やがて訪れる仰天の結末。その隙間から、人が生きていくことのオカシミと切なさがほろほろと零れ落ちてくる。

私はナニジンでも大丈夫、
火星人でも。

山下ヒナ子

(団地に越してきた平凡な主婦)

清治君が腐ってるだなんて…
ありえないだろ!?

行徳正三 (団地の自治会長)

効果きめんです…
日本語は難しい。本当です

真城

(まるで異星人のような青年)

白状しなさい、裏切り者!
一部始終ぜんぶ。
洗いざらい何もかも

行徳君子

(正三の妻、団地のゴミ管理人)

どうせ僕は人望ないんや!
僕は団地から消えるんや

山下清治

(無職、元漢方薬局店主)

大阪近郊にある、古ぼけた団地。昭和の面影を残すその一角で、山下ヒナ子は、夫で元漢方薬局店主の清治とひとりで暮らしていた。半年ほど前に店を閉め、引っ越してきたばかり。腰は低いけどどこか世捨てた雰囲気、住民たちは好奇心を隠さない。調子のいい自治会長の行徳と、妻で“ゴミ監視役”の君子。クレーマーで次期会長を狙う吉住に、暇を持て余した奥さま連中。ときおり訪れる妙な立ち居振る舞いの青年・真城だけが、山下夫妻の抱えた過去を知っていた——。そんなある日、些細な出来事でヘソを曲げた清治が「僕は死んだことにしてくれ」と床下に隠れてしまう。夫の姿が団地から消えても、淡々とパートに通い続けるヒナ子の言動に、隣人たちの妄想は膨らむばかり。「もう殺されてると思う…。一人がついに口にしてしまった言葉をきっかけに、団地を覆った不安は一気にあらゆる方向へと走りだして……」。

danchi-movie.com

日本アカデミー賞最優秀監督賞など数々の映画賞を受賞した「顔」の藤山直美と15年ぶりにタッグを組み、団地に越して来た夫婦にまつわる噂が引き起こす一大騒動を描く。昭和なおばさん夫婦と関西弁のやり取りと笑える世界……

主 催: 東かがわ市交流プラザ

問合せ先: 東かがわ市交流プラザ 0879-26-1224

共 催: 高松シネマクラブ

後 援: 東かがわ市教育委員会

前売券発売所: 東かがわ市交流プラザ・大内公民館・引田公民館

割引券: 当日このチラシをご持参の方は、1,000 円で 5名様まで ご利用出来ます。